

CONCIERGE

by Mochimaru shokuhin Co.,Ltd. 11/Nov/2024/vol.805



花良治(けらじ)みかん “Keraji-Mikan” Citrus (高知県産 鹿児島県産)

一般にはあまり聞きなれない名前の「花良治(けらじ)みかん」。香りみかんとも呼ばれ独特の芳香を持ち、元々は鹿児島県喜界島の小さな集落が発祥といわれている可愛い大きさの柑橘です。しかしその喜界島でも生産量は少なく、珍しい柑橘として知る人ぞ知る存在でした。青玉は一見スタチやカボスのように見て取れますが、「みかん」と名前が付いているように香り良い小みかんという感じで甘みがあり、そのまま剥いて食べても突き刺すような酸味はほとんどありません。そして青切りの皮にはほのかに香りがあり、擦って薬味でも使うことができます。黄玉になるとより甘みが増してくるそうで、現地ではジュースにしても楽しまれているそう。品の良い香りと味わいはカクテルやソルベ、ケーキなどデザートにも楽しめると思います。オレンジ色の果肉と緑の果皮とのコントラストはとても鮮やか、その上種がほとんど無いのでスライスしても美しい断面がのぞきます。「花良治みかん」は、もともと病気に弱く栽培が難しいため、生産量は非常に少なく「幻の柑橘」と呼ばれているほどですが、現在では高知県でも栽培され少しずつ知名度も上がってきているようです。他の柑橘と比べて、健康に良いといわれているポリメトキシフラボノイド(抗がん、アルツハイマー病予防、血糖値・血圧上昇抑制予防)が豊富に含まれていることが研究結果でもわかっているそうです。